

**東京都地方独立行政法人評価委員会**  
**令和元年度第4回公立大学分科会 議事録**

**1 日 時**

令和元年11月26日（火曜日） 午後1時30分から午後1時50分まで

**2 場 所**

首都大学東京南大沢キャンパス 本部棟2階特別会議室

**3 出席者**

松山分科会長、島田委員、鈴木委員、村瀬委員、最上委員  
(分科会長を除き50音順)

**4 議 題**

**(1) 審議事項**

令和元年度 東京都公立大学法人 業務実績評価について

**(2) その他**

**5 議 事**

**(1)審議事項**

**令和元年度 東京都公立大学法人 業務実績評価について**

○松山分科会長 ただいまから、東京都地方独立行政法人評価委員会令和元年度第4回公立大学分科会を開催いたします。

本日は、高橋委員、杉谷委員が、所用によりご欠席されております。

本日の予定ですが、審議事項1件でございます。

なお、本日の案件で非公開とすべき案件はございませんので、全て公開とさせていただきますが、今のところ傍聴人はいないということですので、よろしく申し上げます。

それでは、令和元年度東京都公立大学法人業務実績評価についての審議を行いたいと思っております。

事務局から説明をお願いいたします。

○大野大学調整担当課長 それでは、説明をさせていただきます。

まず、資料でございますが、お手元配付の資料1から資料5に沿って、来年度行っていただく、今年度の業務実績評価についてご説明をいたします。資料1をご覧ください。

令和元年度東京都公立大学法人業務実績評価についてでございます。評価の方法や業務実績評価書の書き方、また、業務実績等報告書の書き方について、まとめてございます。これをまとめるに当たっては、委員の皆様から、アンケートを頂戴いたしておりますので、それを反映する形で、今回お示ししてございます。

まず、1の評価方法についてでございます。評価の段階につきましては、第二期中期目標期間中は4段階であったものを、第三期から5段階にしており、来年度も引き続き5段階で評価していただきたいと思っております。

同様に、大項目の単位につきましても、二期から三期に入るときに項目を整理しておりますので、こちらも来年度については現行のとおりで考えております。ただし、多数の取組内容が含まれる大項目につきましては、今年度と同様に、審議の際にどの業務実績に着目して評価をつけたかということをご議論いただきたいと考えております。

続きまして、業務実績評価書についてでございます。こちらも全体的には今年度どおりというところでございますが、全体評価につきましては、現行のとおり、総評、中期目標の達成に向けた課題、法人への要望という構成でお願いしたいと思っております。評定説明を付す場合につきましては、第二期は全項目必須としていたところを、第三期のときに評定3は必須としないということで、評定3については特筆すべき取組がある場合にコメントを付していただくと、このやり方で引き続きやっていきたいと思っております。

次に、3の業務実績等報告書、これは法人側が作成するものでございますが、今年度の評価を踏まえまして、よりわかりやすくなるように法人に伝えていきたいと思っております。

具体的には、取組事項欄の記載内容を明確化、こちらは引き続きになりますけれども、図やグラフなどのデータを活用して具体的に記載といったところが主な点で、後ほど資料2以降で詳しくご説明いたします。

その他につきましては、法人名称に伴う文言修正や、今年度から始まりました地方独立行政法人法による評価結果の反映について、別の資料でご説明いたします。

資料1は以上でございまして、次に、資料2でございます。

こちらは、分科会として、法人にお示しする業務実績等報告書の作成要領となります。主な

ポイントは、先ほど述べたように、取組事項欄の記載内容を明確化することや図やグラフを活用して具体的に記載すること、名称変更に伴い文言を修正することです。修正をした部分については赤で示してございます。

まず、2ページをご覧ください。

4の項目別実績のところ、下線を引いてあるところがございますが、取組事項欄については、当該事業年度に取り組んだ内容を具体的かつわかりやすく記載するというを、改めて明記してございます。また、成果・効果欄は、その取組事項欄に対応させるということを明記してございます。

その具体的な記載例が5ページでございます。こちらは、昨年お示ししている記載例にも同様のものがございましたが、改めて下線を引いたところ、データ等を用いる場合には本文で引用して、その説明を行うことと記載しておりますが、わかりやすく書いていただきたいということでございます。

例えばという記載例が、5ページの四角囲みの下です。矢印上の例で取組事項、成果・効果が単調に書かれているものを、矢印下の例のように、データ等を用いて客観的にわかるように書いてほしいと考えております。分科会の委員の皆様からは、少しわかりづらいというご意見もありましたので、本日のご審議を踏まえた上で、しっかり法人に伝えていきたいと思っております。

3、4、7ページは年次更新ですので、後ほど、ご覧いただければと思います。

資料2については以上です。続いて、資料2の別紙をつけてございますが、これも今年度もお示した様式でございまして、事務的にどういうところに注意すべきかを記載している資料でございます。こちらは、今年度と大きな変更はございません。

続きまして資料3は、業務実績評価方針及び評価方法についてでございます。修正箇所は、公立大学法人の名称部分のみでございまして、資料4はその新旧対照表になってございます。

最後に、資料5でございますが、こちらは今年度より開始した法定の取組ですが、来年度も引き続きということになります。分科会には、次年度の業務実績等報告書とともに報告するというで行ってまいります。

以上でございます。

○松山分科会長 ありがとうございます。

ただいまのご説明につきまして、何かご意見、ご質問ございましたら、お願いいたします。

○村瀬委員 私も他の機構でこういった評価委員をやらせていただいておりますが、毎年少し

ずつ取組の仕方、評価の仕方を工夫されているようです。公立大学分科会でも同じように取り組まれているということで、非常に良いほうに変わっていると思います。特に、昨年度、それから一昨年度と比べて、評価のやり方がより効果的、効率的になったというふうに感じました。

○松山分科会長 ありがとうございます。

最上先生どうぞ。

○最上委員 資料2の別添の箱書きのところで、データ等を用いる場合は本文で引用して、その説明を行うこと、ということは非常に良いことだと思いました。前回読ませていただいて、グラフがあるのに、そのグラフが、本文中のどこに相当するのがわからない例が多々あった。せつかく良い記載になっているのに、ちょっと中途半端な感じがしました。そこはきちんとしたほうが良いと思います。

それと、私が理系だからかもしれませんが、グラフとかそういう資料があつたら、その下にレジェンドというか、それなりの説明が必要なのかなと思うんですね。そこもちょっと、読む側の気持ちになって、少し整理していただければ。

あと、引用がものすごく多くて、これは項目何に掲載しているとか、再掲載になっていたりとか。見てみると引用が循環している箇所があったり、読んでいて残念なところがありましたので、そこはきちんと直されたほうが良いかなと思います。

○大野大学調整担当課長 委員ご指摘のところについては、我々も最終チェックをする過程で様々気づいたところがありました。引用が循環しているところや、同じことが書いてあってあまり引用になっていないんじゃないかというところは、既に、今年度についても法人側とも共有していますが、本日のご議論、ご意見は漏れなく伝えさせていただきます。なかなか法人も分量があつて、おそらく手分けをしてやっているところがあるので、隅々まで行き届かないのだと思いますが、しっかり時間をかけて、周知をしていきたいと思っています。

○松山分科会長 前回もお話があつたと思うんですけども、あれだけ多いと、おっしゃるように分担してやられている。しかし、全体を通して見られる方がやはり必要じゃないのか。統一感がない。昨年度分で言うと、首都大の研究の部分の説明が足りないなと感じます。成果・効果の記載が明確でなかったりしています。そういうところを、ぜひ改訂をお願いしたいなと思います。

それから、最上先生がおっしゃったのは、資料2ですか、ここのグラフを出されていますね。これの下のところ、これはどういうグラフなのかというのを明確に書いていただくと、文章と若干場所がずれていても、この図なんだなというのがわかると思うんですけども。

○最上委員 せめて、図に通し番号か何かしてないと、そのページの図なのか、前のページの図なのかわからないです。

○大野大学調整担当課長 承知しました。法人と共有して通しで見るように、これは法人側の体制もあろうかと思えますけれども、しっかりそのように伝えて、できるようにしていきたいと思えます。

○松山分科会長 そうですね、お願いしたいですね。多分、この業務実績等報告書を、委員になられて最初に読まれた方は、かなり苦労されていると思うんですね。だから、今回の杉谷先生や最上先生のご意見というのは、非常に貴重なんだろうと思えますから、読みやすいように、評価しやすいような形をお願いできればと思えます。

○大野大学調整担当課長 承知しました。

○松山分科会長 何か、どうぞ。

○鈴木委員 グラフに関連してですけれども、グラフの解説を書かれるとき、もし、何か変化の要因としてこういうことがあるということがあれば、ポイントを追記していただけると、だからこういうふうに変化したんだということがわかりやすいかなというふうに感じました。

○松山分科会長 いかがですか。ざっくばらんに。

○村瀬委員 今年は、評価委員から質問を受けていただいて、そのフィードバックをしていただきました。すごく良かったと思うのですが、その取組は、特に資料には出ておりませんが、来年度以降もやっていただけるのでしょうか。

○大野大学調整担当課長 同じようにやりたいと思っています。

○村瀬委員 わかりました。事前に、業務実績のポイントを法人から直接思いを伝えていただく場は非常に良いと思えますので、要望としてお伝えしたいと思えます。

○大野大学調整担当課長 ありがとうございます。

○松山分科会長 今年は5月に説明いただきましたよね。

○大野大学調整担当課長 最初の評価作業の依頼のときに、説明させていただきました。

○松山分科会長 今回初めてですけど、非常に良かったと思えます。

○大野大学調整担当課長 ありがとうございます。

○村瀬委員 質疑も良かったと思えます。いろいろ質問をさせていただいたんですけど、しっかりと答えていただいたので。

あとは、まさに松山分科会長がおっしゃったように、目線合わせと言ったら変ですけども、自己評価が、各機関によってかなり違うなと思えました。ポイントは変わってもいいんですけ

れども、例えばどなたかに、機関横断的に見ていただいたほうが良いかなという気がしますね。

○大野大学調整担当課長 これは、法人側の作業の過程になりますけれども、いただいたご意見を伝えさせていただきます。作業スケジュールが法人側もタイトで、本来6月に出さなきゃいけないものを、評価作業の都合で少し早めていただいているところもありますので、情報共有して、なるべく改善できるように、少しずつでも進化できるようにと思っています。

○松山分科会長 本日お見えになってない高橋委員と杉谷委員から、事前のアンケートから、それぞれ貴重なご意見があれば、ぜひ、聞かせていただければと思います。

○大野大学調整担当課長 例えば、業務実績評価書について、杉谷委員からについては、3をコメント必須としないということについては妥当なものだと考えています。ただ、委員の中には、たくさん書かれている方もいて、どうすべきかというところは1年目で迷ったけれども、昨年度の業務実績評価書の分量から推察して、コンパクトでも良いという判断の中、自分でやらせていただいたので、引き続きこのやり方でやりたいというようなご意見がありました。

同じく杉谷委員からは、法人が作成する報告書については、初めての評価であったので、慣れてないということもあると思うが、先ほど、最上委員からもありました、見方が煩雑と言いますか、どこをポイントに見たら良いのか少しはわかりにくい部分があったので、報告書の書き方を少し工夫してほしいというようなご意見がございました。

高橋委員からは、特段、ご意見はございませんでした。本日のご意見も踏まえて、見る人によって評価が変わるのではなくて、ちゃんと理解できて評価につながるようなエビデンスベースの資料になるようにやっていきたいと思います。

○松山分科会長 わかりました。ほか、いかがでしょうか。

なければ、この原案どおり承認したいと思います、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○松山分科会長 ありがとうございます。

最後に事務局から事務連絡をお願いします。

○大野大学調整担当課長 来年度のスケジュールについて、資料6をご覧くださいませでしょうか。

まず、今年度ですが、12月から1月にかけて、法人の役員報酬の基準が改定された場合に、持ち回りで分科会を開催をさせていただきたいと思っています。続いて、来年度のスケジュールでありますが、オリンピックイヤーということで未確定なことも多いため、現状は例年どおりでスケジュールを組んでおります。まず、5月中・下旬に第1回公立大学分科会を

開かせていただきまして、令和2年度年度計画のご説明及び業務実績等報告書の説明、評価の依頼をさせていただきます。

そこから6月中旬までで評価の作業をお願いしまして、7月上・中旬の第2回分科会において、丸1日かけて業務実績に関するヒアリング、評価素案のご審議をいただく予定です。その後、8月上旬の第3回分科会で業務実績評価の決定をしていただくという流れでございます。今年度はラグビーワールドカップの関係で、議会が前倒しだったので、少し日程が詰まった感じでやっていただきましたが、来年は全くわからないという中で、例年どおりで予定しております。

○村瀬委員 オリンピック・パラリンピックの競技日程は決まっているかと思いますが、どのような影響が発生するのでしょうか。例えば、スタッフの方がオリパラ業務の応援に回るとかでしょうか。

○大野大学調整担当課長 議会の開催のタイミングだと思っています。

○村瀬委員 議会日程の影響を受けるということですね。

○大野大学調整担当課長 そういうことです。

○村瀬委員 わかりました。そうすると、都議会の開催日程が変わることによって、会議の日程などが変わり得ると。

○大野大学調整担当課長 はい、そうです。

○藤原調整担当部長 パラリンピックは来年9月6日までですから、常識的に考えるとその期間の後だと思われます。

○松山分科会長 8月上旬の分科会はオリンピックの期間にかかるかもしれませんね。

○村瀬委員 大学も企業もオリパラをかなり意識したスケジュール対応となっていますので、そちらのほうが大変かなと思ひまして。

○大野大学調整担当課長 また、全体の概要がわかってきたところにご相談をさせていただきます。どんな影響があるのかも、現状でははかりかねているところもございますので。

○松山分科会長 評価にしても、業務実績等報告書をつくるにしても、かなりぎちぎちのスケジュールでやられているから、あまり何かを入れるということは難しいと思いますので、例年どおり予定を組んでいって、場合によっては変更するという事も考えられる。変わるとしたら8月ですかね、7月の分科会は、多分大丈夫なんでしょう。

○大野大学調整担当課長 そうですね。7月のヒアリングについては、まだオリンピックも始まっていない時期ですので。

○松山分科会長 評価の期間は短いのですが、長くしても、結局は同じことかなということで、スケジュールはこういう形でしていきたいと思いますので、ご協力をお願いします。

○村瀬委員 私の体験から言っても、新しく委員になられた方にとっては、1回目の評価が1番大変だと思うので、そういった面で言うと、一定の日程があれば何とか評価作業はやれるんじゃないかと思います。7月まではあまり変わらないですよ。

○大野大学調整担当課長 そうですね。

○松山分科会長 次は持ち回り開催です。

○大野大学調整担当課長 お集まりいただくことは考えていませんので。

○松山分科会長 次、5月ですね。

○大野大学調整担当課長 はい。

○松山分科会長 よろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、東京都地方独立行政法人評価委員会令和元年度第4回公立大学分科会を閉会いたします。

ありがとうございました。